

2009年11月24日  
日本電産株式会社

～日本電産最大の最先端研究開発拠点～  
**滋賀技術開発センター 新本館棟がオープンしました**

日本電産株式会社（代表取締役社長：永守重信）は11月24日、本年8月に完成しました滋賀技術開発センター新本館棟（滋賀県愛知郡愛荘町）のお披露目式を行いましたので、お知らせいたします。

1、滋賀技術開発センターについて

滋賀技術開発センターは、1984年に滋賀工場として発足、稼働し、当初は主にHDD用スピンドルモータ、ブラシレスDCモータ、ファンモータ等を生産しておりました。1994年4月からは、生産拠点の海外移管により、これら製品の設計・開発を行う滋賀技術開発センターとして改組、新発足し、今日まで発展してきました。そしてこの度、来るべき電気自動車時代に対応すべく、各種車載用モータを中心とした研究開発体制の強化・拡大や新時代に相応しい開発環境を整えた新本館棟を完成させました。これにより本センターは、環境にやさしく省エネを促進するブラシレスDCモータのあらゆる技術を蓄積した当社最大の研究開発拠点として、今後更なる変貌を遂げてまいります。

2、新本館棟の主な特徴

- ①ワンフロアの面積を大きくし、執務と開発スペースを共有化したレイアウトとしています。
- ②作業効率を上げるため、新本館棟と既存棟との間に渡り廊下を設けています。
- ③玄関前にビオトープ（biotope：生命を表す<bio>と、場所を意味する<tope>の合成語）とよばれる、動植物が生息できる環境を設けています。
- ④事務所内の外気熱負荷を軽減するために屋上を緑化し、外壁は断熱性の高い金属サンドイッチパネルを採用、また窓ガラスには特殊金属コーティングを施した中空の複層ガラスを採用しています。
- ⑤事務所には吹抜け、共有スペースには採光窓を設け、自然光を内部へ導入し、昼間の照明エネルギーを低減しています。照明の点灯時は人感センサーで入切を制御して節電しています。
- ⑥長寿命・省電力のLED照明を屋外看板、風除室に採用し、ランニングコストを低減しています。
- ⑦「モータ」をコンセプトにショールームを設置。当社のモータを搭載したほぼ原寸大の自動車モニュメントや日本電産グループの代表的なモータ、モータの仕組みを学べる可動展示物などを揃え、外部訪問者に当社を楽しみながら知っていただける施設となっています。

### 3、新本館棟の概要

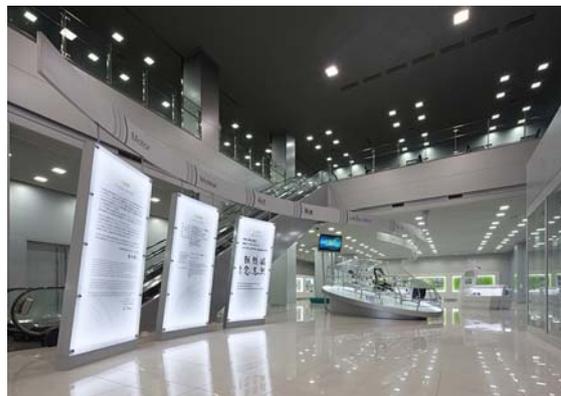
- ①建築面積 3,061 m<sup>2</sup>
- ②延床面積 18,720 m<sup>2</sup>
- ③階数 地上7階
- ④投資額 建物（既存棟改修工事含む）、新規実験研究設備等 総額 約120億円

### 4、滋賀技術開発センターの概要

- ①所在地 滋賀県愛知郡愛荘町中宿 248
- ②敷地面積 51,258 m<sup>2</sup>
- ③延床面積 39,907 m<sup>2</sup>
- ④人員体制 現在の 900 人体制から、技術開発および研究職を中心とした新卒および中途入社社員の追加雇用を毎年 150 名程度行い、2012 年度末に 1,500 名程度の人員体制を想定しています。



滋賀技術開発センター 新本館棟



ショールーム



ビオトープ



屋上緑化

報道機関お問合せ先

日本電産株式会社 広報宣伝部長 田村 徳雄

〒601-8205 京都市南区久世殿城町 338 TEL 075-935-6150 (ダイヤルイン)